

## 働き方改革推進チーム委員の学校での取組事例

学校現場の教職員（管理職、中堅、若手からの15名）の皆さんには、今年度の推進会議、また自校で中心となって働き方改革に取り組んでいただきました。これまでの活動を振り返り、ご意見をまとめましたのでご紹介します。

## 学校における働き方改革を進めました **オススメ!** 管理職（学校リーダー）の学校では

### 会議・研修の在り方の見直し

#### 高校

- ①職員朝礼の**簡略化**  
(職朝連絡用紙に詳細を記載し、共通理解することで打合せ時間を削減)
- ②職員会議資料の**データ共有**  
(共有フォルダを活用し、ペーパーレス化を推進。時間と経費の削減)
- ③Classiの**アンケート機能**を利用した**職員研修**  
(コンプライアンス等の校内研修でアンケート機能を活用。時間や場所を選ばない研修を実施)

### 組織体制の見直し

#### 中学校

- ①給食指導の**二人体制**(担任と職員室で食べていた先生がペアになって)
- ②夏季休業中のA・B勤務(早出遅出勤務)
- ③日課の変更 職朝の**開始時間**を8時 → 8時20分に**変更**
- ④勤務時間を8:00～12:00、12:45～16:30の7時間45分に変更

## メンター制度を活用して業務改善を提案

#### 中学校

- 「現実の一日」と「理想の一日」とを比較し、話し合う。
- メンティー** → 少し先の**ワークライフバランス**を見通したり、自身のキャリアプランにつながったりして視野が広がった。
- メンター** → **どんなことで困っているか気づく機会**になり、先輩としての自覚ややりがいを感じていた。何より**チームで働き方改革を進める雰囲気**が醸成されている。

#### 特別支援学校

## 共有フォルダの活用

ICTを活用した**授業案や教材のライブラリ**(共有フォルダ)を作成

## 「ノー残業デー」の設定

#### 小学校



毎週水曜日は「ノー残業デー」を実施  
計画的・効率的に業務に取り組むことが習慣づけられ、**自らのワークライフバランスを考えた業務改善**につながっている。

管理職のリーダーシップのもと、一人一人の教職員に**前向きな声かけ**を行い、**風通しのよい職場環境づくり**を!